

調布市立図書館施設整備に向けた基本的な考え方（案）

令和6年1月18日時点

調布市立図書館では現在、中央図書館、10の分館、高架下資料保存庫からなる図書館ネットワークを構築し、皆様へサービスを提供しています。

今後の施設整備においては、現在のネットワーク構成及び各施設に求められる機能を意識したうえで、以下の方針を基に施設整備を進めます。

1 利用者ニーズに応える図書館

- (1) 多様な利用者層・ニーズに応じた図書館
- (2) 未利用者への利用促進を可能とする図書館

2 読書・調査活動への支援

- (1) 落ち着いて資料閲覧が出来るスペースの提供
- (2) 幅広い資料の提供及び展示を可能とする書架機能
- (3) 利用者の学習を支援する機能の提供
- (4) 地域に根ざした資料を活用できるスペースの確保
- (5) 計画的な資料の収集と保存場所の確保

3 積極的な乳幼児・児童・青少年に対するサービスの提供

- (1) 児童・青少年が来館したくなる図書館づくり
- (2) 乳幼児連れの保護者が安心して本に親しめる環境の提供
- (3) 多目的な利用が可能な使いやすい子ども室、おはなし室の設置
- (4) 分館網を活かした地域の保育園・幼稚園、学校、子ども関連施設との連携

4 ICTを活用したサービスの提供

- (1) 利用者の利便性の向上
- (2) 利用者のプライバシーを保護したサービスの提供
- (3) ICTを活用した幅広い情報の提供
- (4) ICTを活用した効率的な図書館運営を可能とする施設

5 居場所としての図書館

- (1) コミュニケーションをとれるスペースの設置
- (2) 多彩な事業の実施に対応可能な柔軟な設計
- (3) 世代間を超えた交流の促進
- (4) 子どもから高齢者まで誰もが過ごしやすいスペース

6 持続可能な図書館

- (1) バリアフリーに対応した設計
- (2) 省エネルギー、メンテナンスフリーに配慮した設計
- (3) レイアウト変更に対応したフレキシブルな設計
- (4) サービス導線を考慮した設計

7 資料にアクセスしやすい図書館

- (1) ユニバーサルデザイン
- (2) 来館しやすい駐車場、駐輪場の整備